

# 自己評価及び外部評価結果

別添2

年度 5年 3月 10日

## 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2294202052	事業の開始年月日	2018年 3月	
		指定年月日	2018年 3月	
法人名	株式会社 スマイル			
事業所名	スマイル住まいる鞠子			
所在地	(〒 421-0103 ) 静岡県駿河区丸子2-16-11			
サービス種別 定員等	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	2023年 2月 20日	評価結果	市町村受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

「あなたに会えて、よかった」を理念として、お客様、ご家族様をはじめとする当事業所に関わる全ての方々が、相互に「あなたに会えて、よかった」と、思っただけのような事業所を目指しています。

お客様の意思を尊重し、その人らしい生活を送っていただく為に、お客様の思いに耳を傾け、行動を制限することなく、できるだけご希望に添えるよう支援をさせていただきます。

過剰な介助をせず、お客様のできることを尊重し、個人個人の強みを活かせる介護を目指しております。

また、職員全員が「スマイルの誓い」を守り、お客様に対して敬う姿勢でサービスを提供させていただくことを心がけています。

建物は平屋作りですので、災害緊急時の場合でも安心して行動することができます。また、平屋作りを活かした、歩行練習や、レクリエーションを企画、実施しております。

## 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	静岡県役所介護保険課 長田西地区民生委員		
所在地			
訪問調査日	2023年 2月 21日	評価機関 評価決定日	

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

地域の方が、積極的に協力してくれているような関係性が築けていると感じた。

食事が楽しみになるような工夫だけではなく、食事に関する動作がお客様の役割となっていると感じた。

本人が持つ力の活用として、家事等に参加する機会を作っていると感じた。

家族や医療関係者とも連携し、チームで支援に取り組んでいると感じた。

## 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	12 ~ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	17 ~ 23
V アウトカム項目	56 ~ 68	

スマイル住まいる鞠子 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	自己評価補足	外部評価	外部評価補足	評価用資料
1	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている	「身体拘束ゼロ宣言」をしており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関やユニットの入り口の施錠はしておらず、また、契約の際にも身体拘束をしないと明記した重要事項説明書をお配りしている。	A. 充分にできている	個々の職員への意識向上の取り組みが十分できていると感じました。	<a href="#">身体拘束適正化に関する指針</a> <a href="#">身体拘束適正化委員会議事録</a>
2	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている	高齢者虐待や身体拘束についての社内の研修受講は必須となっており、事業所単位で開催している。身体拘束廃止委員会を作り、3ヶ月毎に実施し、職員間で話し合う場を設けている。	A. 充分にできている	ストレスチェック等を行い、職場環境の整備に努め、虐待防止の原因を取り除くようにしているところもうかがえました。	<a href="#">・虐待防止、身体拘束研修</a> <a href="#">・研修レポート</a>
3	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	B. ほぼできている	コロナ禍の為、以前の様に事業所での対面の開催はできていないが、書面にて報告をして助言や意見を集めています。また、ご家族様面会時等で来訪された際には、お話しを伺うようにしています。	B. ほぼできている	LINE電話を活用している。家族への毎月の報告書の送付。電話や来訪時でのやり取りの中で報告等を行っている。	
4	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている	定期的に人事考課を行い、正社員登用に制度を設け、キャリアアップの推進を行っている。処遇改善についても職員に周知している。	A. 充分にできている	仕事や生活に対する目標を各自年度初めに設定し、9月、年度末、に面談、評価を実施している。	<a href="#">人事評価制度</a> <a href="#">処遇改善に関する内容</a>
5	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている	グループホームとして決められた研修(虐待と身体拘束、看取り、感染症、個人情報、認知症)以外でも移乗等実技の研修も行っている。資格取得の為の対策講座等も開催している。	A. 充分にできている	研修動画が一覧になっており、視聴できるようになっている。また、必須の研修についてはレポートを提出することになっている。	<a href="#">社内プチ研修</a> <a href="#">OJTチェックシート</a>
6	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	B. ほぼできている	ご本人の言葉や思い(言葉で伝えるのが困難なお客様には表情や動作で)を日々接している職員が理解するよう努め、意見を出し合い、必要な時には医療の連携を受け、ご家族様の思いも伺いながら、介護計画に反映している。	B. ほぼできている	プラン作成時には必ず行い、記録に残しています。	<a href="#">モニタリング記録</a> <a href="#">介護計画書①</a>
7	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	B. ほぼできている	記録端末を使用し、個別記録を作成している。職員はどの項目でも参照できるようになっている。情報を共有しながらケアカンファレンスを行い、介護計画の見直しにも反映している。	B. ほぼできている	カンファレンスについても、プラン作成時に必ず行い、記録に残しています。	<a href="#">カンファレンス</a>

スマイル住まいる靴子 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	自己評価補足	外部評価	外部評価補足	評価用資料
8	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	B. ほぼできている	入院された際は、病院関係者、ご家族と相談し、より良い治療が受けられるよう、また、早期退院ができるように情報の共有をしている。	B. ほぼできている	お客様の記録が残っている病院に受診するようにしていますが、決まった病院はありません。入院時には、病院の相談員との連携を図っています。	入退院時記録
9	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている	サービス利用開始時に、重度化対応・終末期ケア対応方針・看取りケアに関する確認事項については、ご本人とご家族に説明を行い、意思の確認と同意を得ている。必要となった際には再度、意思確認を行い、医療連携を密にしてご家族との相談、連絡を随時行うように努めている。	A. 充分にできている	意思の汲み取り方や小さな気づきを研修や、日々、情報共有を行う事で看取りのケアが十分にできていると感じた。家族や医療関係者とも連携し、チームで支援に取り組んでいると感じた。	看取り介護計画書 <a href="#">看取りケアに関する研修</a>
10	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている	年2回の自衛消防訓練を実施している。夜間想定訓練も含め、職員の行動の確認と意識の向上に努めている。民生委員の方や近隣の方に過去の災害の状況などを聞き、避難場所等の助言を頂いています。	A. 充分にできている	地域の方が積極的に協力してくれるような関係性が築けていると感じた。	<a href="#">消防計画・訓練結果</a>
11	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	B. ほぼできている	「スマイルの誓い」を毎朝朝礼で読み上げ、常にお客様を敬う気持ちを持って対応することを心掛けている。個人情報とプライバシーの研修も必須となっており、全職員が毎年受講している。	B. ほぼできている	契約の際に、個人情報についての説明と同意を頂いています。	<a href="#">個人情報とプライバシー保護 研修</a>
12	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	B. ほぼできている	コロナ禍の為、職員が同じテーブルで食事を取ることには中止とさせて頂いているが、準備や片付けについては、お客様にできることをお手伝いして頂いている。お客様に合った食事形態で提供している。	B. ほぼできている	食事が楽しみになるような工夫だけでなく、食事に関する動作がお客様の役割となっていると感じた。	
13	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	B. ほぼできている	自立されているお客様には、声掛け等で口腔ケアをして頂いている。ご自身で困難な方には職員が介助にて行っている。治療が必要な場合は、訪問歯科を依頼して訪問診療をしている。	B. ほぼできている		<a href="#">口腔衛生に関する助言</a> <a href="#">口腔衛生計画書</a>
14	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	B. ほぼできている	自立されている方は、ご自身のペースで排泄されている。介助が必要な場合でもプライバシーに配慮しながら、お客様の排泄パターンに基づいたケアを行っている。できる限りトイレでの排泄ができる様に支援し、自立に向けて検討するようにしている。	B. ほぼできている	排泄のパターンについては、記録を詳細に残し、ミーティング等で共有、検討していきます。オムツから布パンツになった成功例はまだありませんが、今後、成功例を増やしていけるように取り組んでいきたいと思っております。	

スマイル住まいる鞠子 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	自己評価補足	外部評価	外部評価補足	評価用資料
15	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	B. ほぼできている	医療や薬局と連携し、薬の作用や目的を理解し、いつでも確認ができるようにしている。新しい薬を服薬する際や、症状の変化がみられた場合は、速やかに主治医に報告している。服薬支援機器の導入も行っている。	B. ほぼできている	服薬機械を導入しているのは、いいと思います。	
16	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能がわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	B. ほぼできている	ご本人ができることを安全に行えるように、共用の空間には全て手すりを設置している。整理整頓を心掛け、廊下には大きく書かれた案内を掲示し、自立した生活が送れるよう支援している。共用の空間には、季節感ある掲示物を作成し、飾っている。	B. ほぼできている	玄関の花がきれいとお褒めの言葉を頂きました。今後も、お客様とできる範囲で行ってきたいと思います。	<a href="#">共用部写真①</a> <a href="#">共用部写真②</a>
17	本人主体の暮らし	本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	B. ほぼできている	月に2回の訪問診療と、週に1回の訪問看護師による、健康チェックを実施している。必要に応じて主治医の訪問診療、近隣の医療機関への受診等対応させて頂いている。	B. ほぼできている	外部の医療機関への受診については、ご家族様にお願いしていますが、職員が対応することもあります。	
18	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	B. ほぼできている	ご入居の際には、ご本人や家族と相談しながら使い慣れたものや馴染みのあるものを持ち込んで頂いている。居室内をご本人や家族の好みに合わせた配置にし、居心地よく過ごせるよう支援させて頂いている。	B. ほぼできている	茶碗なども馴染みの物を使用させて頂いています。部屋は個室ですが、ご本人様、ご家族様と相談させて頂きながら、環境を整えています。	<a href="#">お客様居室写真①</a> <a href="#">お客様居室写真②</a>
19	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	B. ほぼできている	気の合ったお客様同士でお話ができるよう、同じテーブルに席を作り、お話をしながら、家事等にも参加して頂けるような環境を設けるようにしている。様々なレクリエーションも企画実施している。	B. ほぼできている	本人が持つ力の活用として、家事等の参加する機会を作っていると感じました。参加が難しい方に関しても、生き甲斐の創出として、役割を作ってもらえると良いと感じました。	
20	総合	本人は、このGHIにいて、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	B. ほぼできている	地域の人々との親しみは、コロナ禍の為、散歩の際の近隣の方々との挨拶程度はできている。職員との親しみは、日々の会話やレクリエーションを通して出来ている。	B. ほぼできている	できる範囲で一生懸命取り組まれていると思います。今後については、防災の件が、重要かもしれないと感じました。	